

第 1 3 1 回 (令和4年12月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

加盟店名	売上額	売上数
青森	6,714,000	861
前橋	5,601,000	876
東京	9,052,000	984
京都	3,925,000	619
大阪	4,730,000	512
神戸	8,126,000	925
鳥取	4,853,000	607
広島	7,638,000	953
山口	5,869,000	728

<処理条件>

- <出力形式>のような加盟店別支給額一覧表を作成しなさい。
- 広告費=売上額×7%
研修費=130×売上数
支給額=広告費+研修費
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

加 盟 店 別 支 給 額 一 覧 表

加盟店名	売上額	売上数	広告費	研修費	支給額
合 計					
平 均					

第 1 3 1 回 (令和4年12月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

番号	会員名	基本料金	時間
1	大川 真美	9,420	9
2	中井 正雄	12,140	5
3	桜井 和子	12,910	6
4	小早川 明	11,380	9
5	南 かおり	10,290	7
6	大石 勇樹	11,720	5
7	田中 愛奈	9,890	8
8	杉山 五郎	10,630	7
9	久保田 心	8,970	10

<割引率表>

時間	割引率
8 以上	5.3%
それ以外	3.8%

<処理条件>

- <出力形式1>のような貸会議室請求額一覧表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
- 追加時間=時間-5
追加料金=基本料金÷5×追加時間×0.7(整数未満切り上げ)
- 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
割引額=(基本料金+追加料金)×割引率(整数未満切り捨て)
請求額=基本料金+追加料金-割引額
- 合計を求めなさい。
- 請求額の多い順に並べ替えなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式1>

貸 会 議 室 請 求 額 一 覧 表

番号	会員名	基本料金	時間	追加時間	追加料金	割引率	割引額	請求額

(途 中 省 略)

——	合 計		——	——		——		

<出力形式2>

	基本料金	割引額	請求額
平 均			
最 小			

第131回 (令和4年12月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準2級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

番号	代表者名	人数	コース
1	安藤 哲男	3	11
2	森山 真弓	4	14
3	勝 大五郎	2	12
4	西村 由香	3	12
5	朝比奈 順	2	11
6	田村 ゆみ	5	13
7	上野 正明	2	13
8	赤井 美奈	3	14

<料金単価テーブル>

コース	料金単価
11	26,780
12	24,930
13	19,720
14	15,860

<割引率表>

ツアー料金	割引率
8万以上	⇒ 7.6%
5万以上 8万未満	⇒ 6.7%
5万未満	⇒ 5.8%

<処理条件>

- <出力形式1>のようなツアー料金請求額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 料金単価は<料金単価テーブル>を表検索しなさい。
- ツアー料金=料金単価×人数
- 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
割引額=ツアー料金×割引率(整数未満切り捨て)
手数料=(ツアー料金－割引額)×4.7%(整数未満切り上げ)
請求額=ツアー料金－割引額+手数料
- 人数が4以上または請求額が77,000以上に“**”、それ以外に“*”の判定をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- 請求額の降順に並べ替えなさい。
- ツアー料金請求額一覧表の料金単価のセル証明をしなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。すべて¥表示とする。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- ツアー料金請求額一覧表の請求額の値を代表者名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“代表者別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

<出力形式1>

ツ ア ー 料 金 請 求 額 一 覧 表

番号	代表者名	人数	コース	料金単価	ツアー料金	割引率	割引額	手数料	請求額	判定
(途中 省 略)										
——	合 計	——	——	——		——				——

<出力形式2>

	ツアー料金	割引額	請求額
平 均			
最 大			
最 小			

(還 上 目 記)										
—	合 計	—	—			—				—

第131回 (令和4年12月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準1級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

番号	事業所名	CO	貸出日	返却日
11	日の出産業	103	11/1	11/12
12	井上商会	102	11/3	11/13
13	鈴木総業	101	11/5	11/20
21	A L P企画	104	11/6	11/18
22	青山工業	102	11/9	11/18
23	明日香住宅	103	11/12	11/26
31	東京物産	101	11/14	11/23
32	マキノ商事	104	11/15	11/28

※貸出日・返却日はすべて今年とする。

<商品テーブル>

CO	商品名	基本料金
101	商品E	25,800
102	商品F	18,500
103	商品G	22,600
104	商品H	19,400

<超過料金の計算式>

日数	超過料金
10以下	0
それ以外	基本料金÷10×0.5×(日数-10)

<割引率表>

番号	割引率
10番台	5.1%
20番台	4.9%
30番台	4.7%

<判定表>

日数	請求額	判定
12以上 かつ	25,000以上	A
12以上 または	25,000以上	B
それ以外		C

<処理条件>

- <出力形式1>のような貸出料金計算表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
※貸出日・返却日は、月日の表示であれば形式は問わない。
- 商品名・基本料金は<商品テーブル>を表検索しなさい。
- 日数=返却日-貸出日+1
- 超過料金は<超過料金の計算式>を参照し、求めなさい。
貸出料金=基本料金+超過料金
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような事業所別請求額一覧表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
- 事業所名・日数・貸出料金は貸出料金計算表を表検索しなさい。
- 補償料=貸出料金×2.8% (10位未満切り上げ)
- 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
割引額=貸出料金×割引率 (整数未満切り捨て)
請求額=貸出料金+補償料-割引額
- 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- 割引額の少ない順に並べ替えなさい。
- 事業所別請求額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式2>の請求額を事業所名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“事業所別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

<出力形式1>

貸 出 料 金 計 算 表

番号	事業所名	CO	商品名	貸出日	返却日	日数	基本料金	超過料金	貸出料金
(途中省略)									
——	合 計	——	——	——	——				

<出力形式2>

事 業 所 別 請 求 額 一 覧 表

番号	事業所名	日数	貸出料金	補償料	割引率	割引額	請求額	判定
(途中省略)								
——	合 計				——			——

<出力形式3>

判定がA以外の割引額の平均	
補償料が800円未満の請求額の合計	

第 1 3 1 回 (令和 4 年 1 2 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1 級問題

<問 題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
4. 試験時間は 3 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

顧 C O	商 C O	売上数
101	11	600
101	12	376
101	21	419
101	22	275
102	11	317
102	12	206
102	21	400
102	22	346
103	11	298
103	12	451
103	21	685
103	22	615
104	11	422
104	12	500
104	21	240
104	22	333

<顧客テーブル>

顧 C O	顧客名
101	宮前通販
102	川上商事
103	東北販売
104	朝日雑貨

<商品テーブル>

商 C O	商品名	原価
11	商品 A	869
12	商品 B	983
21	商品 C	1,880
22	商品 D	1,126

<売価の計算式>

売上数	売価
400 以上	定価×0.89
それ以外	定価×0.93

※売価は 10 位未満四捨五入。

<手数料率表>

売上額		商 C O	
		10 番台	20 番台
1 以上	400,000 未満	3.5%	3.0%
400,000 以上	600,000 未満	2.8%	2.4%
600,000 以上		1.7%	1.9%

<判定表>

売価	手数料	判定
1,500 未満	かつ 12,000 以上	**
それ以外		*

<処理条件>

1. <出力形式 1>のような請求額一覧表を作成しなさい。（―― の部分は空白とする）
2. 顧客名、商品名はそれぞれ<顧客テーブル>、<商品テーブル>を表検索しなさい。
3. 定価＝原価×1.38（10 位未満切り捨て） ※原価は<商品テーブル>を参照する。
4. 売価は<売価の計算式>を参照し、求めなさい。
売上額＝売価×売上数
5. 手数料率は<手数料率表>を参照し、求めなさい。（%の小数第 1 位までの表示とする）
手数料＝売上額×手数料率（100 位未満切り捨て）
請求額＝売上額＋手数料
6. 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
7. 合計を求めなさい。
8. <出力形式 1>と同じ形式で、東北販売以外で売上額が 50 万以上を抽出しなさい。
表題は“請求額一覧表（東北販売以外・売上額 50 万円以上）”とし、売上数の昇順に並べ替えなさい。
9. 請求額一覧表を基に<出力形式 2>のような処理をしなさい。
10. 請求額一覧表を基に<出力形式 3>のような処理をしなさい。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
11. 罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
12. <出力形式 2>の手数料を商品名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“商品別の手数料”とし、凡例は“手数料”とする。

<出力形式 1>

請 求 額 一 覧 表

顧 C O	顧客名	商 C O	商品名	売上数	定価	売価	売上額	手数料率	手数料	請求額	判定
(途 中 省 略)											
――	合 計	――	――		――	――		――			――

<出力形式 2>

商品別集計表

商品名	売上数	手数料	請求額
商品 A			
商品 B			
商品 C			
商品 D			

<出力形式 3>

宮前通販以外で売上数が 500 以上の手数料の合計	
定価が 1,500 円以下の売上額の最大	
川上商事または売価が 1,400 円以上の請求額の平均	

第131回（令和4年12月）
情報処理技能検定試験（表計算）
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。
(例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。)
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。
(例：初段101日検太郎)

問題

<入力データ>※テキストデータはSPS フォルダー内のデータを使用する。

[仕入データ表]

(30件)

決済日	商C O	仕入数
2022/9/9	101	304
2022/9/9	102	217
2022/9/9	103	284
2022/9/9	201	205
2022/9/9	202	251

• • •
• • •

2022/11/25	101	330
2022/11/25	102	235
2022/11/25	103	256
2022/11/25	201	228
2022/11/25	202	296

[売上データ表]

(25件)

得CO	商CO	売上数
11	101	371
11	102	121
11	103	301
11	201	203
11	202	287

•	•	•
•	•	•

22	101	427
22	102	231
22	103	277
22	201	267
22	202	430

＜商品テーブル＞ [テーブル]

商C O	商品名	原価(\$)	定価
101	商品A	19.61	3,010
102	商品B	28.42	4,510
103	商品C	20.51	3,150
201	商品D	31.54	5,760
202	商品E	23.53	3,610

＜得意先テーブル＞ [テーブル]

得点	得意先名
11	日光商事
12	マツヤ堂
13	中野企画
21	TKYM
22	大川総業

＜為替相場テーブル＞ [テーブル]

決済日	為替相場
2022/9/9	110.16
2022/9/25	108.70
2022/10/10	107.07
2022/10/25	108.30
2022/11/9	108.49
2022/11/25	110.05

＜割引率表＞ [テーブル]

売上数	得COの下1桁		
	1	2	3
1 ～ 299	8.9%	7.1%	6.6%
300 ～	9.3%	7.5%	7.0%

<処理条件>

1. <入力データ>（テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式）、<商品テーブル>、<為替相場テーブル>を使用し、<出力形式1>のような表を作成。※日付の表示は<入力データ>のとおりとする。

<出力形式1> [仕入データ表]

決済日	商C O	商品名	仕入数	原価	値引額	仕入額
(途 中 省 略)						
—	—	合 計		—		

- 1) 商品名は<商品テーブル>を表検索。
 - 2) 原価＝原価(＄)×為替相場(整数未満切り上げ)
 - 3) 値引額は、仕入数が 270 以上または原価が 3,000 以上の場合、 $\text{原価} \times \text{仕入数} \times 8.1\%$ 、
それ以外は、 $\text{原価} \times \text{仕入数} \times 7.6\%$ 。(10 位未満切り捨て)
 - 4) 仕入額＝原価×仕入数－値引額
2. <入力データ>(テキストデータ、日本語シフト J I S、C S V形式)、<得意先テーブル>、<商品テーブル>、<割引率表>を使用し、<出力形式 2>のような表を作成。

<出力形式2> [売上データ表]

得CO	得意先名	商CO	商品名	売上数	売価
(途 中 省 略)					
—	合 計	—	—		—

- 1) 得意先名、商品名はそれぞれ<得意先テーブル>、<商品テーブル>を表検索。
- 2) 売価＝定価×(1－割引率) (整数未満切り上げ)

3. <出力形式1>、<商品テーブル>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3> [計算表]

商品別仕入額計算表				
商C O	商品名	仕入数	仕入額	構成比率
(途 中 省 略)				

- 1) 商品名は<商品テーブル>を表検索。
- 2) 仕入数・仕入額は、基表の同項目の値を集計。
- 3) 構成比率= $\frac{\text{仕入額}}{\text{仕入額の合計}}$ (%の小数第1位未満四捨五入の表示)
- 4) 仕入数の降順に並べ替える。

4. <出力形式2>、<得意先テーブル>を基に、<出力形式4>のような表を作成。

<出力形式4> [計算表]

得意先別売上額計算表			
得C O	得意先名	売上数	売上額
(途 中 省 略)			

- 1) 得意先名は<得意先テーブル>を表検索。
- 2) 売上数は、基表の同項目の値を集計。
- 3) 売上額=売価×売上数 ※基表の同項目の値を計算後、集計する。

5. <出力形式3>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、商品名別の仕入数を折れ線、仕入額を縦棒にした複合グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。

